

FICオープンセミナー報告

法政大学, 国際文化学部

(出版者 / Publisher)

法政大学国際文化学部

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

Journal of Intercultural Communication / 異文化. 論文編

(巻 / Volume)

20

(開始ページ / Start Page)

228

(終了ページ / End Page)

241

(発行年 / Year)

2019-04-01

「SF の初期時代——フランス語圏の影響」

岡村民夫、ジョルディ・フィリップ

本セミナーは、17世紀から20世紀前半にかけてのフランスやベルギーのSF小説史を概観する、ジョルディ・フィリップによる基調講演「フランス語圏のSFの先駆者」から始まった。書影や挿画をプロジェクトしながら、シラノ・ド・ベルジュラック、ヴォルテール、ジュール・ヴェルヌ、アルベール・ロビダ、ギュスターヴ・ルルージュ、モーリス・ルナール、ジャック・スピッツ等の先駆的作品が紹介され、作家の想像力が、科学史・技術史の影響を受けただけでなく、先駆けとなったり、テクノロジーがもたらす災厄に対する警告となったりしたことが示された。

続いて、岡村民夫が講演「フランスのサイレント SF 映画と稲垣足穂・宮沢賢治」によって、足穂（1900年生まれ）と賢治（1896年生まれ）の比較を通して、フランス製初期SFファンタジー映画の日本文学における受容の一端を問題とした。彼らの文学における宇宙、異次元、飛行機械等の表象には、1910年前後に彼らが観たジョルジュ・メリエスやパテ社のサイレント映画が深く影響したと考えられる

休憩を挟んで、後半は、まず、『日本SF精神史【完全版】』（河出書房新社、2018年）を刊行したばかりのSF研究者・長山靖生氏が、明治から戦前にかけての日本文学におけるフランスSF小説の受容を、当時の世相と関係づけながら概説した。『月世界旅行』や『80日間世界一周』の翻訳ないし翻案、横光利一、川端康成、堀辰雄といったモダニストによるSFテイストの小説などが特に話題となった。

そして最後に、法政大学出身の弁士・澤登翠氏の活弁を伴い、フランス・サイレント映画三本（『月世界旅行』ジョルジュ・メリエス、1902年、『海底二万里』同、1907年、『眠るパリ』ルネ・クレール、1925年）が上映され、祝祭的雰囲気の中に本セミナーは終了した。

なお、一週間後の10月27日、共催者のアンステイチュ・フランセ東京にて、本セミナーと同じイベント名でフランスSF映画（『ファンタスティック・プラネット』ルネ・ラルー、1973年、『ラ・ジュテ』クリス・マルケル、1962年）が上映され、各回、岡村が前説を務めた。

日時：2018年10月20日（土）13～17時

場所：法政大学富士見ゲートG401



S F の初期時代

— フランス語圏の影響 —

法政大学国際文化学部主催

日時 2018年10月20日(土) 13時-17時

会場 G 401 法政大学・市ヶ谷校舎・富士見ゲート

JR飯田橋駅・市ヶ谷駅から徒歩10分

① 13:00～14:45

- 「フランス語圏のSFの先駆者」 ジョルディ・フィリップ (国際文化学部教授)
 - 「フランスのサイレントSF映画と稲垣足穂・宮沢賢治」 岡村民夫 (国際文化学部教授)
- 「不可能を通る旅」(ジョルジュ・メリエス監督) 一部参考上映

② 15:00～17:00

- 「SF初期時代・フランスの影響」 長山靖生
- 日本古典SF研究会の創立者、著書『日本SF精神史 幕末・明治から戦後まで』
- サイレント時代のフランスSF映画鑑賞 (澤登翠活弁つき)
- ジョルジュ・メリエス監督、
 「月世界旅行、Le Voyage dans la Lune」(12分、1902)
 「海底二万里、Deux cents milles sous les mers」(10分、1907)
 ルネ・クレール監督、「眠るパリ、Paris qui dort」(39分、1925)

このシンポジウムでは、フランス語圏の初期時代のSF小説やSF映画がどのように日本に影響を及ぼしていたかを探ります。講演の後、フランスサイレントSF映画を鑑賞し、当時の活弁の様子をお伝えします。弁士の澤登翠さんは、法政大学卒業生です。また、共催のアンスティチュ・フランセ(法政大学市ヶ谷キャンパスの真向かい)では、10月27日に「SFの初期時代・フランス語圏の影響」と題した上映会(岡村教授解説付き/一般¥1200・学生¥800)が行われます。

『ファンタスティック・ブラネット』開映:13:30(開場:13:15)
 (1973年/フランス=チェコ/72分/カラー/35mm/日本語字幕)



『ラ・ジュテ』開映:16:00(開場:15:45)
 (1962年/フランス/29分/モノクロ/35mm/日本語字幕)

